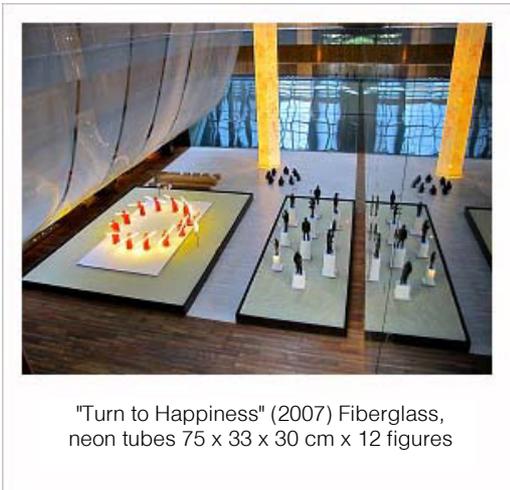


王书刚 (ワン・シュガン) による彫刻が ザ・オポジットハウスにお目見え

2010年1月



"Turn to Happiness" (2007) Fiberglass,
neon tubes 75 x 33 x 30 cm x 12 figures

レッドボックス・スタジオは、このたびアレクサンダー・オクス・ギャラリーズ・ベルリン/北京とのパートナーシップを受け、ザ・オポジットハウス北京の協力を得て、ワン・シュガンによる彫刻作品をホテルのアトリウムに展示することになりました。ワン・シュガンは北京在住の定評あるアーティストで、これまで10年以上ドイツでキャリアを積み、2000年に中国に帰国した人物です。

名声ある北京の中央美術学院を卒業したワン・シュガンは、彫刻の伝統的な技法を自由自在に操り、20世紀リアリズムを仏教図像や中国の日常生活の1シーンと巧みに組み合わせています。彼の代表的なモチーフは、不特定多数の人物グループを用い、社会と個人の必然的な関係性を描くというもので、それらのモチーフは、例えば僧侶が床を掃く動作、瞑想するラマ僧、気功を行う一般人、また、しゃがむ坊主頭の男性など、どこにでもある日々の光景を通して表現されています。急激な都市化と人工的な大量生産の最中に起き得る明白な歴史と文化の喪失や、伝統と現代性の衝突は、ワン・シュガンや他の同世代アーティストにとりノスタルジアや沈思というテーマをもたらしました。彼の作品は集団で見ることで強調され、さらにコミュニティ(集団)の感覚を豊かに表します。加えて、中国の日常に見られる静かな風景をあえて都市的な背景に展示するところにユーモアが見られます。

「ワン・シュガンは中国の日常の顔を、遊び心を持ちながら表現することのできる数少ない現代アーティストです。」「彼の作品は中国の生きた歴史を包含すべく、アートの世界を超越しています。」とレッドボックス・スタジオのディレクター、キャサリン・ドンはコメントしています。

2008年にザ・オポジットハウスは北京のコンテンポラリー・アート・ギャラリーとのコラボレーションをスタートさせました。ザ・オポジットハウスはすでに成功を収めている中国コンテンポラリー・アートの先駆者たちを始め、これから名を馳せて行く若いアーティストまで、様々な作品を展示しています。6フロア分の高さを誇るアトリウムの展示スペースは、アートを共有するとともに、人とアートの交流の場として活躍しています。





「これらの力強いブロンズ像により、いつものスペースがよりダイナミックに、変化が生まれています。さらに古い北京像を私たちのスタイリッシュで、現代的なスペースに展示することにはユーモアも感じていただけるでしょう。オリンピック後の北京が変化していく様も表現しているといえるのではないのでしょうか。」と総支配人のアンソニー・ロスは語っています。

ワン・シュガン（1960年生まれ）は現在北京に在住し、活動しています。その作品は中国、アメリカ、ヨーロッパをはじめ、世界中で展示されており、現在も中国、ドイツ、カナダにて一般公開されています。

アレクサンダー・オクス・ギャラリーズ・ベルリン/北京

1997年にベルリンのミッテで立ち上げられたギャラリーは、アジアでも特に中国のコンテンポラリー・アートを中心にした活動をしています。2008年からは、国際的に活躍するヨーロッパのアーティストの展示や外部プロジェクトにも携わり、上海（2002/2003）や北京の798芸術区（2004 - 2008）にてギャラリー展示を開催した後、オクスは2009年5月に草場地芸術区に、1000㎡の広い展示スペースを誇る新しいギャラリーをオープンいたしました。またオクスは同じ草場地にスタジオハウスを設け、アーティストが住み込みで活動ができるプログラムを開始させました。スタジオはソロ展示を行うヨーロッパのアーティストが利用対象となります。

お問い合わせや詳細は下記までご連絡ください：

Ronald Kiwitt + Susan Si

Tel: 86-10-84562054 / info@alexanderoch-galleries.net

www.alexanderochs-galleries.com

ザ・オポジットハウスについて

ザ・オポジットハウスはスワイヤー・プロパティが北京の中心地に開発した、ショッピング、ダイニング、エンターテインメントのオープンプラン型複合施設です。その中心部分のホテル、ザ・オポジットハウスは9室の広々としたスイートと、240㎡のルーフトップテラス付き、メゾネット式ペントハウスを含む99室のスタジオルームを有します。

全スタジオルームの半数以上が70㎡の広さを誇り、天然木を用いたフローリング、心地よく注がれる天然光など、自然のぬくもり大胆に取り入れ、且つ大切にし、チャイニーズタッチをほどよくちりばめた、心地よいコージーなラグジュアリーホテルです。

www.theoppositehouse.com

三里屯ヴィレッジについて

三里屯ヴィレッジは北京の朝陽区、工人体育场（工人體育場）北路と三里屯路との交差点に位置し、2つに分かれている敷地を合わせると53,000平米の土地を誇ります。99部屋の魅力的なアーバン・ホテル、ザ・オポジットハウスをはじめ、19以上の建物が建ち並び、そのフロア総面積は136,000平米(*)にもなります。

昔の北京によく見られた中庭や路地にインスパイアされ、忙しい三里屯、胡同の周りに建てられたヴィレッジは、コスモポリタンな首都である現在の北京がミックスされています。現在では、200以上の店舗、カフェ、レストランやバー、8スクリーンのシネマ・コンプレックス「メガボックス」、ユニークな文化娯楽施設、さらに800台以上収容可能な駐車場が開発されています。詳細はウェブサイトをごらんください。 www.sanlitunvillage.com

三里屯ヴィレッジの商業施設は、スワイヤー・プロパティーとゲートウェイ・チャイナ・ファンドの合同所有で、その内訳はスワイヤー・プロパティーが80%、ゲートウェイ・チャイナ・ファンドが残りの20%を保有しています。またホテルは100%スワイヤー・プロパティーの所有です。

*フロア面積は駐車場を除く

スワイヤー・ホテルズについて

スワイヤー・ホテルズは、ユニークで好奇心をそそるアーバンホテルを香港、中国本土、および英国に展開し、個性的で豪華なパーソナルサービスを求めるトラベラーにラグジュアリーな体験を提供しています。

数々の受賞歴に輝く、「ザ・オポジットハウス」(北京)と「ザ・アッパーハウス」(香港)をそれぞれ2008年、2009年にオープンし、345室のライフスタイル・ビジネスホテル「イースト」は香港島のアイランドイーストに2010年1月25日にオープンさせました。

スワイヤー・ホテルズは英国において、ローカル色を生かしたスタイリッシュな新ブランド「チャプター・ホテルズ」を創設し、英国の都市や街に展開してゆきます。第1号チャプター・ホテルは、2010年11月末にチェルトナムにオープンした「ザ・モンペリエ・チャプター」です。

www.swirehotels.com

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
スワイヤー・ホテルズ(ザ・オポジットハウス) PR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。
TEL : 03-3403-5328 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp
<http://www.kentosnetwork.co.jp>